

令和07年12月03日 記者発表資料 企画展開催のお知らせ

企画展「昭和のくらし 昭和のまつり」

四日市市立博物館



1. 展覧会概要

◆展覧会名称

企画展「昭和のくらし 昭和のまつり」

◆会期

令和8年1月2日(金)～3月1日(日)

休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

午前9時30分から午後5時(入場は午後4時30分まで)

◆会場

そらんぼ四日市(四日市市立博物館) 4階 特別展示室

〒510-0075 三重県四日市市安島一丁目3番16号

Tel059-355-2700

◆観覧料

一般:600円、高・大学生 500円、中学生以下無料

◆主催等

主催：四日市市立博物館

後援：中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、三重エフエム放送、(株)シー・ティー・ワイ CTY-FM、NHK 津放送局

協力：南納屋町鯨船山車明神丸保存会、鯨船勢州組保存会、中納屋町大入道保存会、南浜田舞獅子保存会

◆開催概要

本展は、小学3年生の子どもたちの学習活動を支援することを主な目的として、当館が所蔵する資料のうち昭和時代のくらしの道具を中心に紹介します。昭和初期から太平洋戦争を経て大きく変化した激動の昭和の庶民のくらし。そのくらしを彩ってきたものの1つにお祭りがありました。今年度は「くらし(暮らし)」の中でも「まつり(祭り)」に焦点を当て、昭和時代の変遷をみていきます。

「昭和のくらし」では、電化製品が少しずつ家庭に入り、くらしが豊かになりつつあった昭和30年代と、それまでの電気・ガス・水道がまだ家庭では便利に使えなかった昭和初期の2つのテーマ展示を中心に、くらしの道具を切り口に人々のくらしがどのように移り変わってきたのかを追っていきます。

「昭和のまつり」では、戦前の四日市において最大の祭礼であり、多くの人々に親しまれた「四日市祭」を取り上げます。戦前最盛期を誇った四日市祭の練り物や豪華な山車を紹介し、四日市空襲によって焼失したものの、一部復興した戦後の四日市祭と比較しながらその歴史をたどります。

◆広報文①(41 字)

昭和のくらしと四日市祭の歴史を実際に使用された道具や当時の写真と共に紹介する展覧会。

◆広報文②(66 字)

昭和初期から 30 年代にかけてのくらしの変化や、戦前・戦後の四日市祭の練り物や山車などを実際に使用された道具や当時の写真と共に紹介します。

◆広報文③(146字)

電気・ガス・水道がまだ家庭では便利に使えなかった昭和初期と、家庭に電化製品が入り生活が豊かになりつつあった昭和 30 年代のくらしの道具を展示し、その変化を追っていきます。また、戦前最盛期を誇った四日市祭の練り物や豪華な山車を紹介し、太平洋戦争を経て復興した戦後の四日市祭と比較しながらその歴史をたどります。

◆資料点数

約 500 点

2. 展覧会の構成

「昭和のまつり」

1. 伝えていきたい四日市祭

四日市祭の概要についてパネルで解説。

【主な出品予定資料】

- ・鯨船山車明神丸(山車模型)
- ・大名行列(山車模型) 等

2. 四日市祭の変遷

四日市祭初期の出し物から戦後の出し物にかけて紹介。

【主な出品予定資料】

- ・出口對石《四日市祭図》
- ・魚づくし(山車模型) 等



出口對石《四日市祭図》

3. 全て見せます！戦前の四日市祭

21基の山車を写真パネルで紹介し、山車模型や祭で使用した衣装も展示。

【主な出品予定資料】

- ・唐子遊び(山車模型)
- ・浜田大山(山車模型) 等

4. 鯨船、からくり人形 徹底解剖！

鯨船やからくり人形山車のしくみを解説。

【主な出品予定資料】

- ・四日市祭山車からくり人形「扇獅子」
- ・四日市祭山車からくり人形「采振り」等

5. 四日市祭と昭和の暮らし

四日市祭が人々の暮らしにどのように関わっていたか紹介。

【主な出品予定資料】

- ・押し寿司器と台一式
- ・郷土玩具 大入道 等



郷土玩具 大入道

6. その他

(1)映像展示

下記の四日市祭映像を放映。

- ・昭和9年の四日市祭
- ・昭和30年の四日市祭
- ・SHINTO FESTIVAL
- ・四日市祭400年祭
- ・失われた四日市の山車
- ・大入道山車の記録

(2)昭和の四日市祭「思い出の写真」(4階ロビー)

市民から募集した四日市祭の思い出の写真をパネルで展示。

「昭和の暮らし」

1. テーマ展示(館蔵資料を使って民家を実物大に再現)

① 昭和初期の暮らし

【主な出品予定資料】

- ・ちゃぶ台
- ・衣桁
- ・壁掛け式電話機 等



昭和初期の展示

② 昭和30年代の暮らし

【主な出品予定資料】

- ・鏡台
- ・火鉢
- ・和裁くけ台
- ・ハ工帳 等



昭和30年代の展示

2. コーナー展示

① スマホが昭和にタイムスリップしたら

スマートフォンに搭載されている各種機能を昭和時代に使われていた道具で紹介。

【主な出品予定資料】

【話スマホ】

- ・赤電話(公衆電話)
- ・携帯電話(J-フォン J-SH02) 等

【書スマホ】

- ・タイプライター OLYMPIA
- ・ワープロ(CASIO 製) 等

【撮スマホ】

- ・カメラ(アルペンフレックス)
- ・8mm カメラ(アルコ CR-8) 等

【視スマホ】

- ・8mm フィルム映写機 Canon
- ・白黒テレビ(コロムビア) 等

【灯スマホ】

- ・スモールランタン
- ・灯 等

【聴スマホ】

- ・ラジカセ
- ・蓄音機 等

【伝スマホ】

- ・鉱石ラジオ
- ・トランジスタラジオ 等

[読スマホ]

- ・展示資料なし

[調スマホ]

- ・辞書関連の資料を展示予定

[導スマホ]

- ・展示資料なし

[健スマホ]

- ・展示資料なし

[財スマホ]

- ・展示資料なし

[乗スマホ]

- ・切符関連の資料を展示予定

[遊スマホ]

- ・ボードゲーム(人生ゲーム)
- ・ファミコン 他 等

[計スマホ]

- ・4 玉算盤
- ・タイガー手廻計算器 等

[録スマホ]

- ・ソニー オープンリール
- ・マイクロカセットレコーダー ナショナル 等

② 昭和の路地裏

【主な出品予定資料】

・三輪車(研究資料) 等



駄菓子屋

③ 昭和の小学校

【主な出品予定資料】

・先生用教室机
・児童用机
・インクつぼ 等



昭和30年代の教室

④ 昭和体験横丁(体験コーナー)

・卓上ワードプロセッサー(研究資料)
・黒電話(研究資料)
・タライと洗濯板(研究資料)
・炭火アイロン(研究資料) 等



体験コーナー

⑤ 昭和の四日市、令和の四日市

昭和・令和の四日市の様子を写真で比較。



昭和・令和の四日市写真

3. ロビー展示

(1) 昭和年表



昭和年表

3. 関連行事について

①展覧会行事「昔の道具をつかってみよう」

日時:令和8年1月25日(日) 10:00～12:00

対象:小学生～中学生(20人 事前申込制)

場所:4 階 特別展示室

参加費:無料

②展覧会行事「ガリ版印刷に挑戦」

日時:令和8年2月1日(日) 10:00～12:00

対象:小学生5年生～中学生[保護者同伴必須](8人 事前申込制)

場所:1 階 講座室

参加費:無料

③展覧会行事「昭和のあそび」

日時:令和8年2月21日(土) 10:00～12:00

対象:小学生～中学生(当日受付)

場所:1 階 講座室

参加費:無料

④ベビーカーDAY(事前申込不要)

日 時:1月18日(日)、2月15日(日) 各日9:30～12:00

対 象:乳幼児と保護者

場 所:館内

参加費:無料(展覧会への入場は別途当日の観覧券が必要です)

内 容:子育て世代大歓迎!この時間は声を出しても泣いても大丈夫。お子さんと一緒に、展覧会をご覧ください。もちろん一般のお客さんも大歓迎です。館内が少しにぎやかな日になりますが、ご了承ください。※館内に授乳室・救護室の用意があります。

※事前申込制のイベントの申込方法

開催日の1カ月前から 10 日前(必着)までに、申込フォームまたはハガキで、イベント名・名前(フリガナ)・電話番号をご記入のうえ下記へお送りください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

[申込フォーム]右の QR コードまたは当館ホームページ「イベントのお申し込み」より

[ハガキ]〒510-0075 四日市市安島 1-3-16 四日市市立博物館 企画普及係



◆広報用画像

画像データをご希望の場合は、当館までメールにてご連絡ください。

【掲載条件】

- ・画像の掲載は、本展覧会の広報目的の場合に限ります。
- ・画像はトリミング不可です。

画像



クレジット：「鯨船模型」四日市市立博物館所蔵

◆担当

四日市市立博物館 企画普及係 阿部、森

〒510-0075 三重県四日市市安島一丁目 3 番 16 号

TEL:059-355-2702 FAX:059-355-2704

E-mail: hakubutsukan@city.yokkaichi.mie.jp